

# すわみつえ通信

No.169 2021年4月12日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7  
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151  
携帯: 080-5039-2785  
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp  
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かしいのちとくらしを守る市政に

## 笠原小学校で最後の入学式



入学式を迎えた笠原小学校=4月8日

4月8日(木)に市内の小・中学校27校で入学式が執り行われました。  
コロナ禍において、昨年に続き学校関係者の万全な対策のもと、新1年生と保護者の方々は成長を喜びあつたことと思います。

今年度末で廃校が決まった笠原小学校は最後の入学式となりました。小規模校の良さを生かし、子どもたちに寄り添った教育が行われることと思います。今年度から、いよいよ35人学級級の法制度のもと、学級編成が行われます。少人数学級の実現には教員の確保が大きな課題です。また、新たに一人一台のタブレットを使つての教育も始まります。

## 鴻巣市の初イベント

### 花のオアシスフェア

#### チューリップまつり開催される

鴻巣の花生産の発祥地、寺谷にある「花のオアシス」では、市民ボランティアの皆さんが植え込んだ約4万球のチューリップが色とりどりに見頃を迎えました。

4月10日(土)・11日(日)に、チューリップまつりが開催され、「花の寄せ植え体験」「多肉植物の寄せ植え体験」「チューリップ摘み取り・球根掘り出し」などのイベントが行われました。

コロナ禍ですが野外で気分転換できる素敵なスポットです。多くの方が訪れていて、出店のお団子などは早々に売り切れていました。花より団子もいいですね。

#### 花のオアシス10日



自治体に大きく影響が懸念される「デジタル5法案」が衆院通過

「デジタル庁」新設を柱とするデジタル改革関連5法案は、4月6日の衆院本会議で自民・公明党と日本維新の会などの賛成多数で可決し、衆院を通過しました。マイナンバーの利用拡大や、はんこが必要な行政手続きの削減などを盛り込んでいます。来年3月から健康保険証としての利用を開始、運転免許証との一体化も計画しています。任意であるマイナンバーカード取得を、実質的に強制する危険があります。

日本共産党の塩川てつや衆院議員は地方自治の侵害として、「情報システムの共同化・集約の推進」で「自治体は国がつくる鑄型に収まる範囲の施策しか行えないことになりかねない」と指摘。「『デジタル庁』は職員500人規模の内、100人以上が企業に籍をおいたまま、給与補てんをうける非常勤だとして、官民癒着が広がる恐れがあるとして、デジタル庁の設置は必要ない」と反対をしました。

#### 俳句コーナー

はなみかだ

花筏川がおぼれてしまいそう

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口



日本共産党 北関東ブロック

# オンライン 演説会



北関東ブロック YouTube チャンネルで配信  
お近くの視聴会場、又はご自宅でも視聴できます



5/2日 午後2時

コロナ危機のりこえ  
新しい政治を

Speech

書記局長  
参院議員 小池晃



衆院議員  
塩川鉄也



前・衆院議員  
梅村さえこ



党茨城県副委員長  
大内くみ子

「本気で政権交代!」「オール野党の連合政権を」

## 新しい日本を、共に

### オンラインミニ集い

# 4/17 土 14時~

「YouTube JCP 埼玉県委員会」で検索を!

伊藤岳参院議員が日本共産党の綱領について語ります。国会報告もおこないます。日本共産党への「疑問、質問」をお受けしますのでお気軽にお寄せください。



参院議員  
伊藤 岳

だれもがまともに  
暮らせる社会へ

## 疫病除けマンボウ? 版画を再展示 「まん防」措置で和歌山

新型コロナウイルスの「まん延防止等重点措置」が宮城、大阪、兵庫の3府県へ適用されるのが決まった中、和歌山市立博物館は4月4日、江戸時代後期に疫病退散を願って描かれたとみられるマンボウの木版画の展示を再開した。措置の適用期限となる5月5日までの予定。

昨年の夏から今年3月の緊急事態宣言解除までの間に、同館は2回、期間限定で展示していた。来館者から「大阪などで『まん防』が始まる今こそ、展示を」との声が相次ぎ、再び披露することにした。同館の佐藤顕学芸員は「まん防とマンボウを掛けるつもりはないが、コロナ終息を願う気持ちは変わらない」と話した。(共同通信社 4月4日付)

